



平成24年3月29日

各 位

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社
代表取締役社長 縣 将貴
(コード番号：3390)
問合せ先 広報・IR部
電話番号 03-6892-3864

事業再編による事業廃止及び特別利益の計上中止に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成23年12月29日の「事業再編及び業績予想の修正に関するお知らせ」でお知らせいたしました、コールセンター事業と採用・教育事業の廃止について決定いたしましたので、お知らせいたします。また、同日付で発表の「業績予想の修正の理由」に追記しておりました資産譲渡による特別利益計上の中止について決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業廃止について

①コールセンター事業

当社は、スマートフォン・タブレット端末に関する事業を柱としており、平成22年末より遠隔サポート技術を利用したスマートフォン・PCのテクニカルサポートを提供していましたが、平成23年12月29日の「事業再編及び業績予想の修正に関するお知らせ」で発表をしまして、主要クライアントとの一部契約の終了があった影響により、今後本事業での収益の見込みが難しい状況であり、また当社の収益の極大化を図っていくためには、経営資源を集中する必要があると判断し、今期でコールセンター事業の撤退をすることを決定いたしました。なお、当社としては、コールセンター事業から撤退を致しますが、関連会社のアイネットサポート株式会社では、事業を継続して行います。

②教育人材事業（派遣事業を除く）

当社は、平成21年10月フロンティア株式会社を連結子会社化し、採用・教育・派遣などの人材関連事業を行ってまいりましたが、東日本大震災の影響により、当社顧客・企業の人材採用・教育への投資需要低下などの影響を受け、大幅な営業損失（平成24年3月期第3四半期セグメント損失178百万円）を計上しました。採用・教育事業については、来期以降も収益の改善が見込めないため、今期で撤退をすることを決定いたしました。派遣事業については、顧客からの安定した受注ができており、一定の収益（平成24年3月期第3四半期セグメント利益21百万円：概算）が見込めるため、来期以降も事業の継続をいたします。また、フロンティア株式会社は来期以降も、当社の連結子会社として、事業を継続いたします。

<廃止事業の概要>

(1) 事業の内容

コールセンター事業：遠隔サポート技術を利用したスマートフォン・PCのテクニカルサポートの提供

採用・教育事業：教育・研修および人材の採用に関する人材サービスの提供

(2) コールセンター事業・教育人材事業の平成24年3月期第3四半期（累計）における経営成績

(単位:百万円)

	コールセンター事業	教育人材事業 (派遣事業を含む)	平成24年3月期 第3四半期 (連結累計)
売上高	598	893	3,773
セグメント利益(営業利益)	18	△178	△417

(注) コールセンター事業、教育人材事業はセグメント利益、連結累計は営業利益。

2. 一部資産譲渡による特別利益計上の中止に関するお知らせ

当社は、平成23年12月29日（以下「当初」という）に開示しました「事業再編及び業績予想の修正に関するお知らせ」にてお知らせしました携帯事業における将来収益の一部を譲渡する資産譲渡（以下「資産譲渡」という）を進めていましたが、資産譲渡を中止することにいたしました。

当初の予定としては、財務体質改善のため資産譲渡の譲渡益の計上を予定しておりましたが、資産譲渡については、将来収益の売却であり（来期以降に収益として見込める金額を現在価値に割り引いた金額で売却をするものであり）、来期以降の収益の減少に繋がることから、今期に資産譲渡益を計上するよりも、来期以降の収益として計上することが経営上より望ましいとの判断をし、資産譲渡の中止をすることにいたしました。

資産譲渡に伴う譲渡益は、平成24年3月期において、70百万円の特別利益を計上する予定でしたが、資産譲渡を中止した結果、平成23年12月29日の「事業再編及び業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示しました業績予想のうち、当該特別利益相当分が減少する見込みです。また、当社は、現在事業再編に取り組んでおり（現在さまざまな要因の精査をしており）、事業再編により業績への重大な影響が見込まれる場合には、確定次第速やかにお知らせいたします。

以 上